



1 下屋敷
山麓に移された藩主住居です。城下を見下ろす高台に位置します。現在は農地となっています。



2 総門脇の土塀
下屋敷を少し下ると、総門と呼ばれる長屋門がありました。現在は石碑と土塀が残っています。



3 植村家長屋門
高取藩の家老・中谷家の長屋門。現在は旧藩主植村家の住居となっています。海鼠壁(なまこかべ)が特徴的で、県指定文化財です。



4 田塩家長屋門
白壁、腰部に下見板を張る武家屋敷の長屋門。装飾性と監視や防御を兼ねた出格子窓と与力窓(よりきまど)を2つ持っています。



5 松ノ門
高取城の廃城時に土佐小学校に移築され、昭和19年火災にて一部焼失し、残存部が近年児童公園に復元されました。



6 夢創館(むそうかん)
呉服商を改修した観光拠点(お土産販売・休憩所)。高取城の日本100名城スタンプもここで押すことができます。



7 石川医院
かつての藩主下屋敷の表門が、石川医院に移築されて現存しています。



8 土佐街道の街並み
全長約2kmにも及びます。高取城大手筋に続く旧城下町の街並みが今も味わえます。



9 子嶋寺(こじまでら)
真言宗高野派。室町期に衰退しましたが高取城主の庇護を受け今日に至ります。山門は高取城二ノ門の移築で、貴重な高取城現存遺構です。



10 永明寺(えいめいじ)
真宗本願寺派。山門は、高取城の城門を移築されたものと伝承されています。



日本の山城
大高取城

高取城の城下町を訪ねてみよう！

当初は山上の二の丸や城内にあった藩主住居や家臣屋敷は、次第に麓に移動してくるようになります。近鉄「壺阪山」駅を降り、国道169号線を渡って100メートルほど進むと北西から南東に延びる旧城下町の佇まいが今もよく残されています。豊臣秀吉の吉野桜見の途次に高取の茶屋に立ち寄ったことから、高取城下の発展が始まったと伝えられています。高取城の大手筋へと続く一本道となっている土佐街道の町並みは、連子格子(出格子)や虫籠窓などの造形を持つ、二階建ての町家が軒を連ねます。移築された藩主の下屋敷表門や家臣屋敷の長屋門も残されており、歩きながら散策を楽しむことができます。付近には高取城に関連した遺構やスポットも多くありますので、山上でのお城歩きのを癒しつつ、余韻に浸ることができます。